

【様式4】令和2年度 学校自己、及び、学校関係者評価表 武蔵村山市立第二小学校

経営理念	「子供も大人も自分らしく、生き生きと学ぶ学校。子供も大人も共に成長し、一人一人が明るく輝く学校」 (児童像) 何にでも主体的にかかわり、知識・技能や体力を高め、これからの自分の学習や生活に生かしていこうとする児童。 (教師像) 教師自ら学ぶ姿勢で児童とかかわることで一人一人のよさを見つけ、認め、励まし、さらによさを伸ばし広げるために粘り強く指導を続ける教師。					【学校運営協議会・会長】 乙幡 芳美 学校運営協議会（学校評価分）第1回 12月1日(火) 第2回 3月4日(木)		
------	--	--	--	--	--	---	--	--

	経営目標 (中期・短期を明記)	目標達成のための方策	評価指標	自己評価				分析コメント(学校関係者評価委員会の意見、児童・生徒評価、保護者評価等の意見について、参考にする。)	改善策(来年度の目標設定、具体記な取組目標)	学校関係者評価		
				7月12月 目標値		最終評価				意 見	評価点 (4点満点)	
				達成値	達成値	達成度	評価					
確かな学力の向上	学習内容の確実な定着と充実を図る。	学習の見通しや達成感をもてるように、授業の導入部で学習の「ねらい」を共有し、授業の終わりには学習内容・方法の「まとめ」のある授業を積み重ねる。	・授業が分かると答えた児童の割合		80		103	A	授業後、多くの児童が学習内容を理解していることが分かる今後も、児童一人一人の考えを大切にし、授業改善に努めながら、児童全員が「できた・分かった」と実感できる授業を展開しく。また、自らの力で自信をもって学習に向かう力を育てていく。	・今年度は目標値を80にしたが、目標を達成できたので来年度は、85に上げたいと考える。授業に対する姿勢は改善傾向にある。 ・校内研究会を更に充実させ、学校全体としての学力向上に努めていく。(特に、基礎・基本)	・学習面に於いて立ち遅れが無いように教職員の皆様には、頑張ってください。 ・子供たちの為に的確な教育活動を引き続きお願いする。 ・今後も児童が分かる授業を目指してほしい。	4
			・学力が身に付くような授業をしていると感じている保護者の割合		78	83						
		チャレンジタイムや家庭学習(宿題)等を活用し、反復練習(読み・書き・計算)を強化していく。	・児童と保護者がチャレンジタイム・家庭学習を必要と感じる割合		80		102	A	目標を達成できた。宿題等は学力向上に役立っていると考え保護者が増えている。宿題に取り組むことで、学校で学習した内容の定着を図ることができる。次の学年に向けて苦手を克服できるよう、更に強化していく。	・学力の向上を図るために、更なる取組を工夫・改善する。児童によって内容の理解の仕方が様々なので(視覚的、説明的、作業的など)、一人一人に合った提示方法や授業展開を検討していく。 ※新型コロナウイルス感染症予防のため、今年度はチャレンジタイムを行っていません。	・適切な量の宿題を出し、確実な定着を図ってほしい。 ・学習に遅れがちな児童への対応に力を注いでほしい。 ・教職員の頑張りに期待したい。	4
			82		82							
		算数科を通して、みんなで考えることを楽しめる児童を育成する。また、算数科の習熟度別学習と、東京ベーシックドリルの活用を行い、算数科の基礎力の習得を確かにする。	・みんなで考えながら算数の問題を解くことが楽しいと答えた児童の割合		80		97	A	今年度は、算数科の学習を通して「考えることを楽しむ児童」の育成に重点を置いた。「よくあてはまる」という児童の割合が増えている。引き続き、考える時間をしっかりと確保し、学習における児童の主体性を尊重しく。	・来年度は、様々なしかけを考え、全員発言、全員発表できるような工夫をしていく。 ・東京ベーシックドリル活用を明確に位置付け、個別の対応を心掛けながら、学力の向上を図る。	・自分の意見を言ったり、友達の意見を聴いたりする指導方針はよい。 ・個に応じた指導の充実を進め、組織的・計画的に運営してほしい。 ・字を丁寧に書く習慣が身に付けられるとよい。	3.5
			75		78							
豊かな心の育成	「特別の教科 道徳」の授業を充実させる。	写真や挿絵等の資料提示や補助発問等の工夫を図りながら実践をする。また、「考え、議論する道徳」を展開し、これからの思いや課題について考える時間を設けるようにする。	・自分の考えや他者への思いを深めることができた児童の割合		80		85	A	児童と保護者共に「よくあてはまる」「あてはまる」の割合が高い。一方、保護者の「分からない」の割合が23パーセントにある。「特別の教科 道徳」で様々な道徳的価値に気付かせると共に、学校の教育活動全体を通して、道徳の実践力の向上に努めていく。また、道徳授業地区公開講座等を活用し、学校や家庭、地域が連携を深められるように取り組んでいく。	・来年度も教育活動全体を通して、道徳教育を推進していく。一人一人が自分の考えを広げ深められるようにしていく。 ・例年とおり保護者評価が低かったので、道徳への取組を道徳授業地区公開講座等を通して周知していく。 ・今年度のように、講演会の内容を充実させ、道徳授業地区公開講座をもっと身近なものにする。	・計画的・意図的に道徳の授業を実施してほしい。 ・道徳を通して、思いやりのある人間形成を目指してほしい。	3
			・自分の子が道徳の授業を通して、考えを振り返ったり、これからのことを考えたりしていると感じている保護者の割合		62	68						
	体験活動や交流学習、エキスパートタイムに取り組む。	ふるさと教育の体験活動や高校生との交流、エキスパートタイムに取り組む。	・体験学習等が楽しいと答えた児童の割合		85		97	A	活動の意義や内容を多くの保護者に理解していただいている。これからも地域に根付いた活動を大切にしながら、本気で頑張ることの素晴らしさを評価し、自尊感情を育成するとともに美しい志を更に醸成していく。	・文部科学省教育課程特例校として、エキスパートタイムで得た力を様々な教育活動に生かしていく ・体験学習の成果と課題を踏まえ、児童の成長につながるよう指導の工夫・改善を図るために、年間指導計画に位置付け、意図的・計画的に取り組みを進める。	・来年度は、体験活動ができるようになるとうい。 ・エキスパートタイムは、楽しく充実した時間を過ごせたようです。 ・専門性の高い内容や技術について児童が学べることは大変よい機会である。	3.5
			・自分の子が体験学習等を楽しいと感じている保護者の割合		78	83						
	読書活動の充実を図る。	ブックトークや読み聞かせ、貸し出しカード等の工夫を図り、学校図書館の本を年間50冊以上を借りるとともに、心に残った本を3冊以上あげられるようにする。	・学校図書館貸出数、50冊以上を達成し、かつ、心に残った本が3冊以上ある児童の割合		60		133	A	児童と保護者で大きな差があった。児童は図書室で本をすすんで借りているが、家庭で読書をする様子があまりなかったことが、この結果の要因と予想される。今後も、本に親しむ機会を増やし、様々な価値観に触れさせていく。また、図書の補充を図り、読書環境を整備していく。	・大きく達成値が上がったので、来年度の目標値を80とする。 ・学校司書と図書担当教員の連携を更に深め、図書委員会の活動の充実を図っていく。 ・児童の興味や関心を高めるために、家庭での読み聞かせをお願いしていく。	・図書館で本を借りてきているようだ。積極的に本を読んでほしい。 ・活字に触れる機会を増やしてほしい。 ・学校司書の配置はよかった。読書活動は、読解力を身に付け、学力向上につながる。	4
			81		80							
健やかな体の育成	基本的生活習慣の確立を図る。	「早寝・早起き・朝ごはん・歯磨き」の推進をし、健康な体づくりを目指す。	・自らを振り返り、改善を図るために実践できた児童の割合		85		91	A	各家庭の継続した指導の成果で、臨時休校によって生活のリズムが乱れがちだったにも関わらず、安定した評価となった。健康でたくましい体づくりのためにも、今後も「早寝・早起き、朝ご飯、歯みがき」を毎日続けるよう声掛けを継続して行っていく。	・基本的生活習慣の定着が図られている。基本的生活習慣の確立は、学力向上の礎でもあり、本校では重要課題であると捉え、引き続き指導を行っている。 ※新型コロナウイルス感染症予防のため、今年度は学校で歯磨きを行っていません。	・基本的生活習慣に関して、家庭の理解と協力が不可欠である。連携して取り組んでほしい。早寝早起きも継続して指導してほしい。 ・歯磨きをしっかりと行うことにより、むし歯の減少につながる。	3.5
			・自分の子が継続して基本的生活習慣を身に付けようとしていると感じている保護者の割合		76	78						
	体力の向上を図る。	個や能力に応じた場の設定等、体づくり運動の充実を図り、運動量を十分に確保できる指導の充実を図る。	・体力づくり運動に積極的に取り組んだ児童の割合		80		108	A	高い数値となった。引き続き、児童一人一人の取組を十分に認め、体育の時間の充実を図り、児童の体力を向上させていく。健康でたくましい体をつくっていく。※本校は、令和元年度子供の体力向上推進優秀校 東京都表彰を受けました。	・来年度は、目標値は90にして、更に体力の向上を目指す。 ・来年度は、本年度できなかった中休みの5分間走やなわとびへの取り組みを徐々に再開し、児童の意欲が継続していくように指導する。また、児童の運動量を十分に確保した体育学習を実施していく。	・朝遊びや中休み5分間走等を来年度は実施できたらよい。 ・体育の授業での児童の運動量を確保してほしい。	4
			・自分の子が体力づくりに積極的に取り組んでいると感じている保護者の割合		85	87						
安全・安心な学校づくり	自分で考え、判断し、行動できる児童を育成する。	安全指導計画を基に避難訓練や登校班指導、交通安全教室、セーフティ教室等の安全教育を充実させる。	・危険を予測し、回避できる児童の割合		80		98	A	「自分で判断し、考え、行動できる児童」の育成のために、安全教育計画に基づき、学校では引き続き、毎月の避難訓練や交通安全指導、登校班指導、セーフティ教室(東大和警察署と連携)等で避難行動を指導していく。	来年度は、目標数値を85にし、意識的に取り組んでいく。また、保護者や地域と協力し児童の安心と安全を保障していく。各家庭の協力を仰ぐ。※東京マイタイムラインの活用	・引き続き、自分で考え、判断し、行動できる児童を育ててほしい。	3.5
			・自分の子が危険を予測し、回避しようとしていると感じている保護者の割合		71	79						
	学校から保護者・地域への情報発信を積極的に行い、双方向の連携・協力体制を強化する。	保護者・地域に必要なと思われる適正な情報を適宜発信する。	・学校からの情報発信に満足している保護者の割合		80		92	A	「よくわからない」と回答した保護者が12%(12月)いました。学校だよりや学年だより、ホームページやツイッターなどで、積極的に情報を発信していく。また、学校からのお知らせや緊急時の場合などは学校配信メールで配信していく。	・ツイッターのアップ率が定着したので、情報発信を継続的に応じて行っていく。PTAや地域の行事に教員が参加している様子も発信していく。資源回収、二小まつり、みかん狩り、もちつき大会などの行事に、積極的に参加していくようにする。	・図工の先生のツイッターがすごくよい内容でした。 ・情報は、新鮮なうちに発信してもらえるとうい。	3.5
67				74								
平均値											3.65	

【達成度】＝〔達成値〕／〔目標値〕
【評価】 A：8割以上→目標達成とみなし新たな目標設定 B：8割未満5割以上→8割を超えるまで継続実施 C：5割未満→目標の見直し